

平成29年度技能伝承取り組む企業の好事例発表及び意見交換について
「地域における人材育成の取組状況について」

1 概要

(1) 日 時 平成30年3月20日(火) 16:00~17:30

(2) 場 所 北海道立職業能力開発支援センター 第3研修室

(3) 参加者

ア 座 長	北海道技能振興コーナー	コーナー長	水野 司
イ 有識者	北海道職業能力開発協会	専務理事	瀬 賀 亨 氏
ウ 発表者	北見地域職業訓練センター運営協会	専務理事	堀内 博美 氏
	胆振地方技能訓練協会	事務局長	斉藤 淳一 氏
	旭川地方技能士会	事務局長	工藤 隆洋 氏
	帯広地方職業能力開発協会	専務理事	宮脇 雅行 氏

エ 意見交換参加団体

札幌地方職業能力開発協会	事務局長	堀田 益孝 氏
函館技能士会	事務局長	長濱 幹夫 氏
スキルアップセンター空知	副主幹	中園 典章 氏
パワスポ留萌	専務理事	鈴木 鉄男 氏
稚内技能士会	事務局長	岡本 透 氏
日高地域人材開発センター	センター所長	山形 敦二 氏
釧路地域職業訓練センター	専門員	井上 貴道 氏
小樽地方職業訓練協会	事務職員	河野 紀子 氏
北海道経済部労働政策局人材育成課	産業人材グループ 専門主任	立澤 瑞穂 氏

(聴講者) 6名

2 人材育成(技能伝承等)に取り組む企業の好事例発表

(企業等の概要)

企 業 ・ 団 体 名	有限会社 工藤宅建
代 表 者 名	代表取締役 工藤 秀雄
所 在 地	〒090-0012 北海道北見市並木町164-3
連 絡 先	TEL : 0157-31-3020 FAX : 0157-31-3050 E-mail : kudou.takken@jade.plala.or.jp
業 種 ・ 業 務 内 容	建設業

(取組の概要)

自社の若手従業員を、北海道知事認定「北見技術工学院」に入学させるとともに、技能五輪予選大会ならびに技能五輪全国大会に積極的に派遣。その後、技能士取得後には北見地方建設事業協同組合工技能士会及び北見建築青年会に入会させ、『きたみ技能まつり』や『青年技能士まつり』等、北見地域で行うイベントや技能奉仕活動に積極的に参加協力している。

また、技能五輪全国大会出場者で構成する、北見建設事業協同組合「規矩術研究会」に自社従業員を派遣し、後進の指導育成に励むとともに、北見技術工学院へ職業訓練指導員を派遣し自社のみ

ならず、業界の若手従業員の人材育成に尽力。

あわせて、建築大工技能検定実技試験の技能検定補佐委員に自社従業員を派遣するなど、技能検定制度の普及促進に励んでいる。

(取組の効果等)

最近では、平成22年度の第49回技能五輪全国大会北海道予選「建築大工部門」に自社従業員が出場。その後、第50回大会・第52回～第54回大会で自社従業員が入賞。そのうち、第54回技能五輪全国大会北海道予選では、自社従業員の田中綾乃が女性として初めて第1位となり、あわせて北海道知事賞を受賞した。

また、上記のうち第50回技能五輪全国大会「長野大会」、第53回技能五輪全国大会「千葉大会」第54回技能五輪全国大会「山形大会」に出場した。

(人材育成に関する課題や意見)

早くから技能後継者不足が嘆かれているが、北海道の民間における職業能力開発の拠点である『北海道職業能力開発協会』様において、効果的な人材確保に係るPR事業等を積極的に推進していただきたい。

(好事例発表の様子)



(企業等の概要)

企業・団体名	須藤建設 株式会社 《創業1918年（大正7年）・設立1969年（昭和44年）》
代表者名	社長 須藤 正之 (社員 50名)
所在地	〒052-0012 伊達市松ヶ枝町65-8
連絡先	TEL 0142-25-2252 FAX 0142-23-5490 e-mail
業種・業務内容	総合建設業（建築工事業、土木工事業、大工工事業 等）

(取組の概要)

今、北海道では建築や土木等の建設業を支える「優れた技能士」の育成が求められ、特に若年技術者の技術力の向上を図ることが喫緊の課題となっている。そのため、須藤建設株式会社からの要請を受け、熟練技能士（マイスター）による若年技能者への指導・技能伝承、社員への技能検定受検促進の場として「技能検定～1・2級建築大工に挑戦！」の講座を開催した。

この講座は平成28年12月20日（5名参加）に第1回として開講し、今年度は11月11日・12日（5名参加）に第2回目として開講した。次年度も広く他社に呼びかけ、参加者の拡大・充実を目指している。

(取組の効果等)

- ・ 講座は出来栄を左右する重要工程の原寸展開図作成からスタートすることにより、基礎として身に付けなければ現場での細やかな対応力の重要性を学ぶことができた。
- ・ 現在、材料は工場での加工や電動工具等が主であっても、講座でカンナ等の道具を用いることによって材料加工の基礎を学ぶことができた。
- ・ 技能検定試験受検への準備と心構えを醸成することができた。

(人材育成に関する課題や意見)

- ・ より効果的な講座にするためには、切磋琢磨できるよう参加者の拡大が大事だと思う。講座参加希望者は、事前に仕事の調整が必要なため、関係者へ早めに開催告知する工夫が重要である。
- ・ 平成28年度の技能検定試験結果は、あまり良好ではなかった。すぐ結果を出すことは難しい。
- ・ 講師陣であるマイスターの声として、自身が指導力を高め、より魅力的な講座にするための研修の場に参加したい、という要望があった。

(企業等の概要)

企業・団体名	有限会社 高橋加工部 (従業員32名、技能士24名)
代表者名	代表取締役社長 高橋 猛文
所在地	〒080-0801 帯広市東1条南14丁目2番地
連絡先	Tel 23-5579 FAX 22-2738 e-mail
業種・業務内容	木材加工

(取組の概要)

技能検定受検を積極的に進めるとともに多くの社員を技能五輪に参加させ、優秀な成績を収めている。在職する職人30人の9割が1・2級技能士を取得している。

技能検定に合格すると2級で5,000円、1級で1万円が毎月の給与に加えて支給される。

また、技能五輪出場選手には訓練時間を勤務時間に組み込み、材料も会社が用意している。技能五輪出場経験のある社員が多く、出場者に対するアドバイスを行うなど社内の支援体制が整っている。

(取組の効果等)

このような取り組みは会社としての技術力の高さをアピールすることにもつながっており、より高度な製品の受注が増え、経営上プラスになるとともに何より社員の技術とモチベーションの向上につながっている。

(人材育成に関する課題や意見)

- ・ 国や道における公共事業において技能士尊重制度が有効となっているが、公共事業単価への加算など、よりインセンティブが欲しい。
- ・ 人材の定着や意欲の向上には働く人にやりがいが無ければならない。個人の達成感に加え他者から認められている環境が大切と考える。様々なやり方で職人の仕事の理解の促進を図っていただきたい



(企業等の概要)

企業・団体名	旭川鉄工青年会（正会員54名、賛助会員9名）
代表者名	会長 村井 豊
所在地	〒078-1332 上川郡当麻町宇園別3区
連絡先	TEL 0166-84-4757 FAX 0166-84-4584 e-mail tekkousyo@potato.ne.jp
業種・業務内容	(有)村井鉄工所

(取組の概要)

旭川鉄工青年会では、人口流出が進む旭川の街を「鉄のように熱くしよう!」との思いから、鉄を削る工具“サンダー”を使って音楽に合わせて火の粉を飛ばすパフォーマンスを考案。その動画をYouTubeで公開したところ、大反響をよんだ。鉄工所などで働くおよそ30人の男性たちがメンバーとして週に1~2日、練習を重ねている。今年の1月10日(水)1900テレビ朝日系列「ビートたけしの知らないニュース」でお笑いタレントの「ロッチ中岡」さんをゲストに迎え、ものづくりに携わる男達によるサンダーパフォーマンスが全国放送で紹介された。このほか旭川市内及び各市町村の各種イベントにおいて、鉄工色を生かしたサンダーパフォーマンスの芸を披露して、地域の住民から大好評を得ている。また青年部が中心となり、旭川市のイメージキャラクターである「あさっぴー」をまさに職人の技で、設計から切断・曲げ・溶接・磨き・塗装と鉄鋼技術の粋を集めたアート作品として完成させ、現在、旭川道の駅で「メタル・あさっぴー」として展示している。

(取組の効果等)

旭川鉄工青年会の取組が全国放送されたこともあり、地元旭川市の知名度アップにつながったとともに、市町村を問わず各種イベントにおいて、演出の予約が殺到し鉄工所など地域のものづくり産業への関心や理解の促進に貢献している。



(サンダーパフォーマンス)



(メタル・あさっぴー)

3 意見交換

- ・近年、折角、入職しても数年で離職する若年者が多い中で、体力的な面などのハンディを克服し女性特有の気配りやきめの細かい仕上げなど腕を磨き、第一線の建築大工職人として活躍する姿は、これから入職を考えようとする女性にも励みとなる。
- ・今の建築現場では、昔のように職人が材料を加工することは、ほとんど無いことから、若年技能者の育成には道具の使い方など基礎から始めなければならない、時間がかかることを覚悟しなければならない。
- ・本日の好事例のように、技能検定に合格した場合、手当を毎月支給している企業は道内では本場に少ないと思う。職員の給与分を発注単価に反映できないと思うので、企業努力に感服した。このような取組が好事例ではなく、普通の事例になることを望む。
- ・認定職業訓練生の募集に管内を回るが、本日の事例発表にも活用した DVD（平成 26 年度若年技能者人材育成支援等事業で製作）は、非常に好評で言葉で説明するよりも、映像で見せた方が効果的で PR 効果も高い、家族で見てもらえる事も可能で入職の促進にもつながる。DVD の作成はその後、事業では認められなくなったが、地域の事業メニューとして是非復活することを要望する。

4 全体総括（瀬賀専務理事）

日頃から皆様の取組に深く敬意を表します。

各地域の人材育成に関する好事例の発表を聴きました。全体的な感想としては、どの地域も企業や職種団体、ものづくりマイスターなどがそれぞれに協力して人材育成に取り組む熱意と努力が感じられた。そして若い人材に対して、技能を向上させていくことの達成感やインセンティブをどう与えていくかに苦勞していることが伺えた。今後ともこういう事例を数多く紹介し、人材育成に取り組む経験や工夫を共有していくことが重要であると改めて認識した。